

## 安全データシート

---

### 1. 製品及び会社情報

---

肥料の種類	消石灰
製品名	最上特選消石灰・アグリライム72・顆粒消石灰
会社名	全国農業協同組合連合会
担当部署	肥料農薬部
住所	〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F
電話番号	03-6271-8285
Fax番号	03-5218-2536
電子メールアドレス	<a href="mailto:zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp">zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp</a>
緊急連絡電話番号	03-6271-8285
(空白；標準8行、農協提供用記載欄)	

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

---

### 2. 危険有害性の要約

---

GHS分類	皮膚腐食性・刺激性 :	区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 :	区分1
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) :	区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) :	区分2(肺)

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

呼吸器系の障害

長期又は反復ばく露による肺の障害のおそれ

注意書き

安全対策 適切な保護手袋を着用すること。

適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。

	粉塵、ヒュームを吸入しないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
対応	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぐこと。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を求める。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

SDS 整理番号:S-6 Page2 of 4

### 3. 組成、成分情報

单一製品、混合物の区別	单一製品
化学名	水酸化カルシウム
成分及び含有量	Ca(OH) <sub>2</sub> 95%以上
化学式又は構造式	Ca(OH) <sub>2</sub>
官報公示整理番号	1-181
CAS No.	1305-62-0

### 4. 応急措置

目に入った場合	きれいな水で十分洗浄し、直ちに医師の診断をうける。
皮膚に付いた場合	きれいな水で十分に洗い流す。
吸入した場合	多量の場合は直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	きれいな水で口の中をよく洗浄し、直ちに医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の処置

消火剤	小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水 大火災：粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤、散水
特有の消火方法	不燃性であり、火災・爆発の危険性はない。 注水は飛散防止に配慮する。
消防を行う者の保護	消防作業の際は必ず保護具を着用する。

### 6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項	処理作業の際には保護具（保護メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣）を着用し、粉塵を吸入、皮膚への付着を防止する。
環境に対する注意事項	シート等で覆い、飛散拡大の防止を図る。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和	乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	保護具（保護メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣）を着用する。
注意事項	粉塵を極力抑え、適切な集塵装置を設置する。
安全取扱い注意事項	接触、吸入又は飲み込まないこと。
保管	
適切な保管条件	密閉し乾燥した場所に保管し、大気との接触を避ける。

水との接触を避け、防湿に留意する。強酸を近接させない。  
容器包装材料 耐アルカリ性容器を使用する。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	ACG I H (TLV-TWA) (2006年度版) : 5mg/m <sup>3</sup>
設備対策	換気をよくし、粉塵の飛散を防止する。
保護具：	
吸引用	防塵マスクを着用する。
保護眼鏡	着用する。
保護手袋	着用する。
保護衣	着用する。

SDS 整理番号:S-6 Page3 of 4

#### 9. 物理的及び化学的性質

形状	粉状
色	白色
臭い	無臭
pH	12.4 (25°C飽和水溶液)
分解温度	580°Cで水を失って酸化カルシウムとなる。 <sup>1)</sup>
引火点	不燃性でありデータなし
発火点	不燃性でありデータなし
密度	2.24 <sup>1)</sup>
溶解度	水に僅かに溶ける。
臭いの閾値	データなし
燃焼性	データなし

#### 10. 安定性及び反応性

安定性	不燃性。 加熱すると分解し、酸化カルシウムを生じる。
反応性	酸類と反応し発熱する。 大気中に放置すれば、二酸化炭素を吸収して炭酸カルシウムとなる。
避けるべき条件	水に微溶であるが、水溶液は強アルカリ性を示す。
混触危険物質	強酸化剤、酸類。水の存在下で、多くの金属を侵す。
危険有害な分解生成物	酸化カルシウム

#### 11. 有害性情報

急性毒性：	経口ラット ♂ LD <sub>50</sub> >6500mg/kg <sup>2)</sup> 経口ラット ♀ LD <sub>50</sub> 7691mg/kg <sup>2)</sup> 経口マウス ♂ LD <sub>50</sub> 5494mg/kg <sup>2)</sup> 経口マウス ♀ LD <sub>50</sub> 5268mg/kg <sup>2)</sup> 経口ラット LD <sub>50</sub> 7340mg/kg <sup>3)</sup> 経口マウス LD <sub>50</sub> 7300mg/kg <sup>3)</sup>
-------	---

##### 皮膚腐食性・刺激性

炎症をおこす事がある。眼及び気道を含むすべての身体表面ばく露に対し中程度の刺激性を示す。

##### 眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼に入ると、眼を刺激し粘膜をおかす。

##### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性：データなし

皮膚感作性：データなし  
生殖細胞変異原性 データなし  
生殖毒性 データなし  
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）  
ヒト呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの記述(ACGIH, 7th, 2001; HSDB, 2005; ICSC(J), 1997; SITTIG, 4th, 2002; HSFS, 2005)から区分1（呼吸器系）とした。<sup>4)</sup>  
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）  
Priority 2においてヒト肺を冒すことがあるとの記述(ICSC(J), 1997; SITTIG, 4th, 2002)から区分2（肺）とした。<sup>4)</sup>  
吸引性呼吸器有害性  
データなし

SDS 整理番号:S-6 Page4 of 4

## 12. 環境影響情報

残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
生態毒性	
魚毒性	アユ (1g) 24 H LC <sub>50</sub> 55.0mg/L <sup>5)</sup>
	アユ (1g) 96 H LC <sub>50</sub> 45.8mg/L <sup>5)</sup>
	アマゴ (0.7g) 24 H LC <sub>50</sub> 33.0mg/L <sup>5)</sup>
	アマゴ (0.7g) 96 H LC <sub>50</sub> 33.4mg/L <sup>5)</sup>
オゾン層への有害性	なし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	水溶液は強アルカリ性を示す為、中和等の処理を行なう。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
国内規制	
陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。 他の危険物のそばに積載しない。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）
---------	-------------------------------------

## 16. その他の情報

### 引用文献

- 1) 化学便覧 改定4版（平成5年）－日本化学会編

- 2) 石灰No. 443 (1992年11月号) -日本石灰協会
- 3) ケミカルデータサービス・化学品情報 (1993年1月)
- 4) GHS分類結果データベース (製品評価技術基盤機構)
- 5) 日本石灰工業組合・技術資料・水質-No. 1 「石灰による淡水域の環境改善」

#### 記載内容の取扱い

記載内容は現時点での入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。

本 SDS は、下記秩父石灰工業株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名	秩父石灰工業株式会社
	電話番号 03-3551-2191 FAX 番号 03-3551-2197
担当部門	武甲工場 技術部検査課
住 所	埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬 7 番地 電話番号 0494-22-8385 FAX 番号 0494-22-2573
緊急連絡先	電話番号 休日・夜間 : 0494-22-2572